

比田井大來 ひたない 書家。明治五年一月二十一日長野縣生れ。昭和十四年一月四日歿（一八七二—一九二九）。講鴻、字象之、通稱常大郎。別號大樸、天籟、淳風、畫沙、畫洲道人、萬象、大來道人等。明治二十年上京、白下部鳴鶴の門に入り、翌年「松學舎」等へて經學・金石學を修めた。昭和十一年書畫學院を、翌年大日本書道院を設け、また書家初の帝國藝術院會員となる。

編者書 可鷹雀先生楷書博士遺稿 全三冊（編、昭和七年九月二十日書畫院後援會）、可大來翁書話（田中成軒編、昭和十二年十一月二十六日誠文堂書院）等。